



諸経費 編

取扱説明書

(一財) 建設物価調査会

目次

1. 「楽しくアプロ工事費算出システム 諸経費編」について	3
2. メニュー画面.....	3
3. 基本的な使用方法	6
3-1. 基準選択画面	6
3-2. 計算条件入力画面	6
3-3. 計算結果表示画面	8
3-4. 計算結果印刷画面	9
4. 施工箇所が点在する工事の計算.....	10
4-1. 積算方法の概要	10
4-2. 「点在する工事」を ON にする	11
4-3. 施工箇所一覧の再編集	15
4-4. 計算結果の確認.....	16
4-5. 「点在する工事」を OFF にする	18
5. 施工時期、工事期間、緊急工事による補正の計算	19
5-1. 「補正する」を選択する	19
5-2. 各補正係数の算出方法	20
6. 諸経費編の用語について	21

1. 「楽らくアプロ工事費算出システム 諸経費編」について

- ① 本ソフトウェアは、それぞれ以下の基準に基づいて作成しています。
 - ・令和6年4月適用の国土交通省土木工事積算基準
 - ・令和6年4月適用の農林水産省土地改良工事積算基準（土木工事）
- ② 本ソフトウェアのご使用にあたっては、請負工事費の構成、諸経費の算出方法や率の補正条件等を国土交通省土木工事積算基準「建設物価調査会発行」、農林水産省土地改良工事積算基準（土木工事）「一般社団法人 農業農村整備情報総合センター発行」等でご確認下さい。なお、「工事における工期の延長等に伴う増加費用の積算方法」は、本ソフトウェアでは対応しておりません。
- ③ 旧バージョンを残したまま新バージョンをインストールすることができますが、使用にあたり、新、旧バージョンを間違えないようにご注意ください。

2. メニュー画面

諸経費編システムを起動すると、メニュー画面が表示されます。

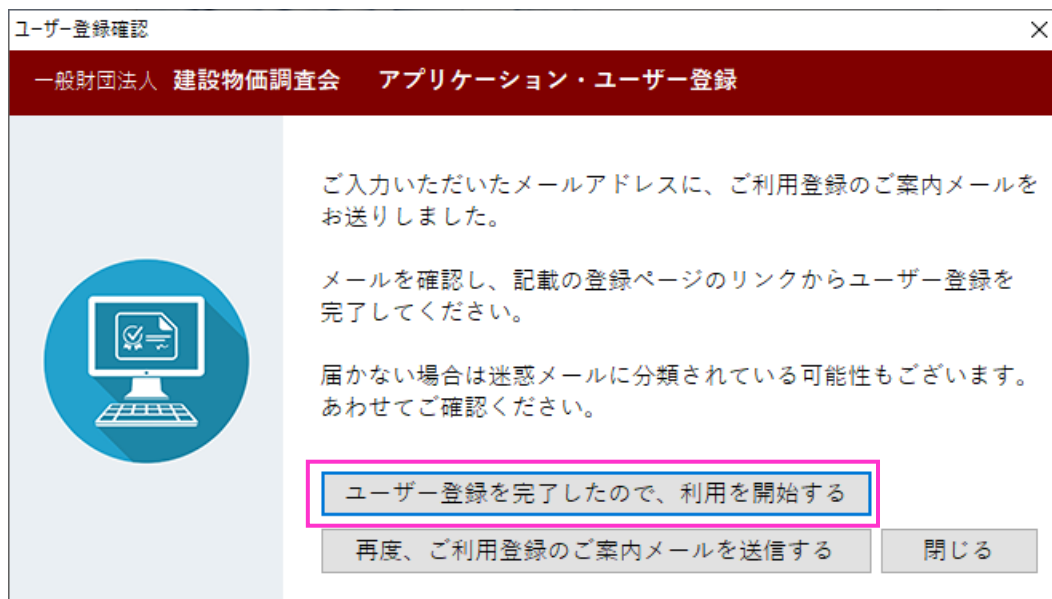


「利用を開始する」ボタンをクリックすると、以下のようなユーザー登録画面が表示されます。

お客様の「メールアドレス」と書籍に添付された「シリアルコード」を入力して、「送信」ボタンをクリックすると、以下のような登録案内メール送信画面が表示されます。

お客様のメールアドレス宛に、ユーザー登録のご案内メールが送信されています。
メールを受信し、記載された手順どおりにユーザー登録を完了させてください。
(メールに記載された登録 URL をクリックし、ブラウザからご登録いただきます)

ユーザー登録が完了しましたら、画面に戻り、「ユーザー登録を完了したので、利用を開始する」ボタンをクリックしてください。



システムが、ユーザー登録をサーバーに問い合わせます。

無事に登録が確認できれば、本体機能が起動します。



1 度ユーザー登録を完了いただければ、次回起動時はメニュー画面で「ご利用を開始する」ボタンをクリックすると、直接上記のメイン画面に遷移します。

2 度目以降のご利用時は、ご登録いただいたユーザー・PC 識別情報で自動的に登録の確認を行っています。

別 PC で同じシリアルコードを使用してご登録された場合は、従来ご利用していた PC ではご利用いただけず、認証エラー画面が表示されます。画面の案内に従い、利用規約に準じたご利用をお願いいたします。

3. 基本的な使用方法

3-1. 基準選択画面

はじめに適用基準を選択してください。

基準選択

土木

国土交通省による土木工事積算基準です。

土地改良

農林水産省による土地改良工事積算基準です。

それぞれのボタンをクリックすると、選択した基準による計算画面が表示されます。

3-2. 計算条件入力画面

適用基準選択後は計算条件の入力画面が表示されます。

率&アップロ工事費算出システムシリーズ 諸経費編 R06版 土木

工事名

主工種 河川工事

☐ 施工箇所が点在する工事

入力

入力詳細

直接工事費

0 円

共通仮設費積上分

運搬費

0 円

準備費

0 円

事業損失防止施設費

0 円

安全費

0 円

役務費

0 円

技術管理費

0 円

営繕費

0 円

現場環境改善費

0 円

共通仮設費率

補正 補正しない

現場環境改善費率

率計上しない

補正 大都市・市街地以外

現場管理費率

補正 補正しない

施工時期、工事期間、緊急工事による補正

補正 補正しない

補正値 0 %

補正値を算出

被災地地区向け復興係数による補正

補正 補正しない

率補正係数 共通仮設費 1 現場管理費 1

週休2日の補正（試行）

補正 補正しない

率補正係数 共通仮設費 1 現場管理費 1

週休2日交替制モデル工事（試行）

補正 補正しない

率補正係数 現場管理費 1

一般管理費等率

前払金支出割合補正 35%を超え 40%以下 [補正しない]

契約保証に係る補正 補正 補正しない

補正値 0 %

計算結果を表示

印刷プレビュー

主工種を選択し、直接工事費や共通仮設積上分を入力します。

共通仮設費率や現場管理費率の補正条件等を選択し、必要な場合は補正值を入力します。

入力

入力詳細

支給品費①

桁等購入費

0 円

一般材料費

0 円

別途製作の製作費

0 円

電力

0 円

無償貸付機械等評価額②

0 円

PC桁等購入費③

0 円

鋼桁、門扉等の工場原価④

0 円

直工に含まれる処分費等

0 円

準備費に含まれる処分費

0 円

①②は直工と事業損失防止施設費に含まれるもの

③④は直工に含まれるもの

(参考) 間接工事費等の項目別対象表 ☐

(参考) 「処分費等」の取扱い ☐

共通仮設費率、現場管理費率等の率計上項目の対象額をより細かく算出することができます。

「入力詳細」タブを選択して入力してください。

条件の指定に際して、より詳細な情報がある場合は、「資料」のアイコンをクリックしてください。参考資料の PDF を参照することができます。

• 共通仮設費率



条件を入力し終わったら、「計算結果を表示」ボタンをクリックしてください。

計算結果表示画面に進みます。

計算結果を表示

印刷プレビュー

3-3. 計算結果表示画面

「計算結果を表示」ボタンをクリックすると以下の画面が表示され、計算結果を確認することができます。

率にくアプロ工事費算出システムシリーズ 諸経費編 R06版 土木

〇〇河川築堤工事 / 河川工事

直接工事費

10,000,000 円

共通仮設費

1,138,000 円

共通仮設費積上分

0 円

運搬費積上分

0 円

準備費積上分

0 円

事業損失防止施設費積上分

0 円

安全費積上分

0 円

役務費積上分

0 円

技術管理費積上分

0 円

當緒費積上分

0 円

現場環境改善費積上分

0 円

現場環境改善費率分

0 円

共通仮設費率分

1,138,000 円

純工事費

11,138,000 円

現場管理費

4,378,000 円

工事原価

15,516,000 円

一般管理費等

3,274,000 円

工事価格

18,790,000 円

消費税等相当額(10%)

1,879,000 円

諸負工事費

20,669,000 円

(1,000円未満切り捨て)

現場環境改善費率 $0.00\% \times \text{対象額}$ 10,000,000

共通仮設費率 $11.38\% \times \text{対象額}$ 10,000,000

現場管理費率 $39.31\% \times \text{対象額}$ 11,138,000

一般管理費等率 $21.13\% \times \text{対象額}$ 15,516,000 - 調整額 4,530

(調整額は、工事価格を1万単位とするための端数処理金額)

(参考)設計金額の表示標準

戻る

印刷レビュー

「戻る」ボタンをクリックすると計算条件入力画面に戻ります。

4. 施工箇所が点在する工事の計算

4-1. 積算方法の概要

この機能は、以下の基準記載に関する計算を行うものです。

施工箇所が点在する工事の積算方法について

施工箇所が点在する工事については、建設機械を複数箇所に運搬する費用や複数箇所の交通規制等がそれぞれの箇所で発生するなど、積算額と実際かかる費用に乖離があるため、共通仮設費、現場管理費を箇所毎に算出する積算とする。

1. 対象工事

施工箇所が複数あり、施工箇所が1 km程度を超えて点在する工事を対象とする。

なお、通年維持工事等、当初契約において工事場所を範囲で指定する工事は除く。

ただし、これにより難しい場合は個別に考慮できる。

2. 工事箇所の設定方法及び積算方法

(1) 施工規模の大きい箇所を「親設計書」とし、その他の施工箇所を「子設計書」と分類する。

(2) 主たる工種区分は、工事全体で判断する（施工箇所毎に主たる工種区分を設定しない）。

(3) 直接工事費の施工規模等の入力条件は、施工箇所毎の数量から選択する。

(4) 労務費、材料費等単価の地区設定は、施工箇所毎に設定する。

(5) 共通仮設費及び現場管理費については、施工箇所毎に算出した合計額とする。

(6) 共通仮設費率及び現場環境改善費率、現場管理費率の補正については、施工箇所毎に設定する。積上げ項目のうち、施工箇所毎に分割できない場合は、直接工事費の最も大きい施工箇所に計上する。

(7) 一般管理費等については、施工箇所毎に分けない積算（通常の積算）と同様とする。

なお、一般管理費算出時の、共通仮設費率及び現場管理費率にかかる、施工地域を考慮した補正は、「親設計書」で設定した係数によるものとする。

(8) 業務委託料は、「親設計書」に計上する。

入力手順は、次のようなシステムフローとなります。

- ① 「施工箇所が点在する工事」を ON にします。
- ② 「施工箇所一覧」で親工事とそれぞれの子工事を登録します。
- ③ 「施工箇所」を親工事・それぞれの子工事に切り替え、各地区の直接工事費・積上げ部分共通仮設費・補正条件を入力します。
- ④ 「施工箇所」を＜通常の積算＞（施工箇所ごとに分けない積算）に切り替え、直接工事費・積上げ部分共通仮設費・補正条件を入力します。

詳しくは、以降の説明を参照ください。

4-2. 「点在する工事」を ON にする

施工箇所が点在する工事について、積算額と実際かかる費用に乖離があるため、共通仮設費、現場管理費を箇所ごとに算出することができます。

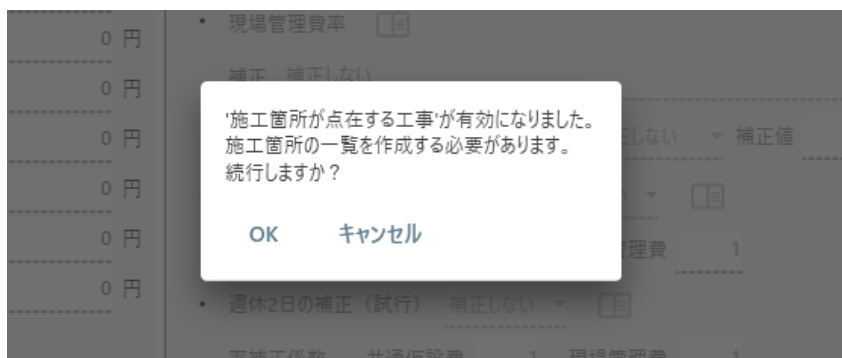
点在する工事に対応するには、チェックボックス「施工箇所が点在する工事」にチェックを付けます。



The screenshot shows a software window titled '楽らくアプロ工事費算出システムシリーズ 諸経費編 R06版 土木'. It contains a form with the following fields:

- 工事名: ○○河川築堤工事
- 主工種: 河川工事
- チェックボックス: ☒ 施工箇所が点在する工事
- ボタン: 入力, 入力詳細
- ラベル: 共通仮設費率

画面が暗転し、「施工箇所が点在する工事」の計算には、施工箇所のリストを作成する必要があるという確認メッセージが表示されます。「OK」をクリックします。



施工箇所の一覧画面が表示されます。はじめは、施工箇所がない状態ですが、ここに施工箇所を挿入して一覧を作成していきます。



The screenshot shows a dialog box titled '点在する施工箇所の編集'. It contains a table with the following columns:

No	親	施工箇所名称	直接工事費	新規作成
				削除
				上へ
				下へ

Buttons: OK, キャンセル

Message: 施工箇所は 2～10 の範囲で設定してください。

「新規作成」ボタンをクリックします。

新しい行が追加されるので、続けて施工箇所名称を入力してください。

点在する施工箇所の編集

No	親	施工箇所名称	直接工事費	新規作成
1	親	新しい地域	0	削除 上へ 下へ

施工箇所は2～10の範囲で設定してください。

OK キャンセル

「点在する工事」に対応するには、2～10 箇所の施工箇所の定義が必要です。
すべての施工箇所を定義したら、「OK」ボタンをクリックします。

点在する施工箇所の編集

No	親	施工箇所名称	直接工事費	新規作成
1	親	施工箇所○○○○	0	削除 上へ 下へ
2		施工箇所XXXX	0	

OK キャンセル

元の条件入力画面に戻ります。

設定した施工箇所は、リストから選択することができますので、表示を切り替えながら、施工箇所ごとの数値・補正条件を入力していきます。

ここで親工事・それぞれの子工事切り替えを行います。

入力詳細を親工事・それぞれの子工事別に入力します。

施工箇所のリストには、ユーザーが定義した以外にも、「＜通常の積算＞」という名称の入力枠があります。これは一般管理費等対象額の計算のために、「施工箇所が点在していない場合」の入力値・補正条件を入力するための入力枠です。

The screenshot shows a software interface for managing construction sites. At the top, there is a header bar with the text '<通常の積算>' on the left and a button labeled '施工箇所の編集' on the right. Below the header, there is a list of construction sites. The first item in the list is '<通常の積算>', which is highlighted with a red rectangle. Below this item are two other items: '施工箇所〇〇〇〇' and '施工箇所××××'. To the right of the list, there are several buttons and labels: '施設費率' with a small icon, '補正しない', and '環境改善費率' with '率計上し'.

「＜通常の積算＞」≡各施工箇所の入力値の合計
となりますが、運搬費等の関連で必ずしも合計額と一致しませんのでご注意ください。

4-3. 施工箇所一覧の再編集

施工箇所の一覧を再度、変更する場合は、施工箇所リストの横の「施工箇所の編集」ボタンをクリックします。



楽らくアプロ工事費算出システムシリーズ 諸経費編 R06版 土木

工事名 ○○河川築堤工事

主工種 河川工事

施工箇所○○○○

入力 入力詳細

直接工事費 10,000,000 円

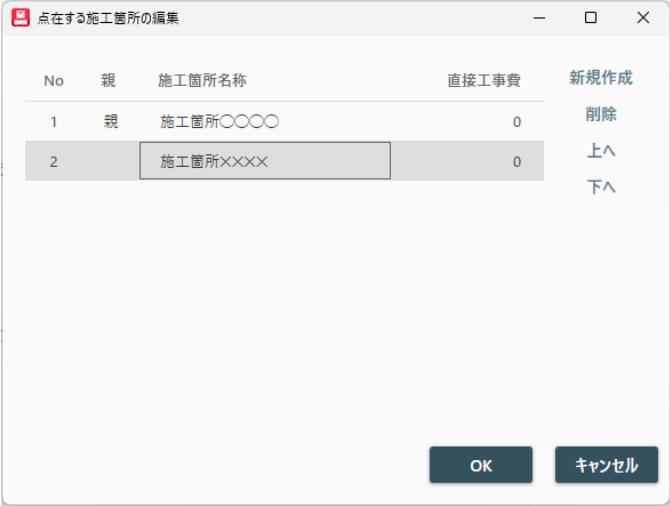
共通仮設費積上分

共通仮設費率

補正 補正しない

施工箇所の編集

施工箇所一覧の編集画面が開きますので、追加・削除・名称の変更等を行ってください。



点在する施工箇所の編集

No	親	施工箇所名称	直接工事費	新規作成
1	親	施工箇所○○○○	0	削除
2		施工箇所XXXX	0	上へ 下へ

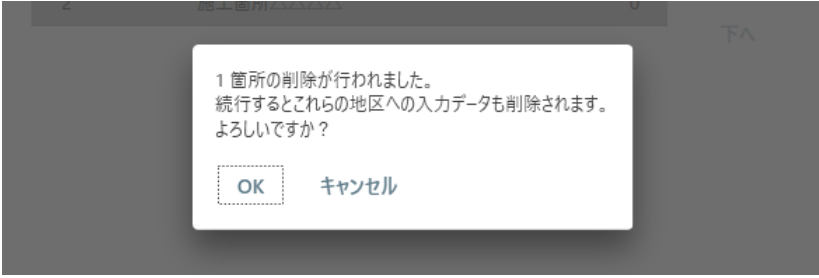
OK キャンセル

施工箇所一覧の再編集が終了したら「OK」ボタンをクリックします。

既存の施工箇所を削除した場合は、その施工場所に関連して入力した条件も削除されます。

誤って削除してしまうことを防ぐため、以下のような確認メッセージが表示されます。

よく確認して「OK」ボタンをクリックしてください。



1 箇所の削除が行われました。
続行するとこれらの地区への入力データも削除されます。
よろしいですか？

OK キャンセル

元の条件入力画面に戻ります。

4-4. 計算結果の確認

計算結果を表示するには、通常どおり「計算結果を表示」ボタンをクリックします。

・ 一般管理費等率

前払金支出割合補正 35%を超え 40%以下 [補正しない]

契約保証に係る補正 補正しない 補正值 0 %

計算結果を表示 **印刷プレビュー**

計算結果画面が表示されます。

「施工箇所が点在する場合」は、条件入力画面と同様、地区を切り替えると、工事原価までの表示が切り替わります。

(一般管理費等以降の項目は工事全体に対する計上項目なので変わりません)

率にクアプロ工事費算出システムシリーズ 諸経費編 R06版 土木

〇〇河川築堤工事 / 河川工事

ここ地域を切り替えます。

< 通常の積算 >

直接工事費	20,000,000 円		
共通仮設費	1,996,000 円		
共通仮設費積上分	0 円		
運搬費積上分	0 円		
準備費積上分	0 円		
事業損失防止施設費積上分	0 円		
安全費積上分	0 円		
役務費積上分	0 円		
技術管理費積上分	0 円		
當繕費積上分	0 円		
現場環境改善費積上分	0 円	(1,000円未満切り捨て)	
現場環境改善費率分	0 円	現場環境改善費率	0.00 % × 対象額 20,000,000
共通仮設費率分	1,996,000 円	共通仮設費率	9.98 % × 対象額 20,000,000
純工事費	21,996,000 円		
現場管理費	7,472,000 円	現場管理費率	33.97 % × 対象額 21,996,000
工事原価	29,468,000 円		

一般管理費等	5,814,000 円	一般管理費等率	19.74 % × 対象額 29,468,000 - 調整額 2,983
工事価格	21,330,000 円		(調整額は、工事価格を1万単位とするための端数処理金額)
消費税等相当額(10%)	2,133,000 円		
請負工事費	23,463,000 円	(参考)設計金額の表示標準	

戻る **印刷プレビュー**

「印刷プレビュー」ボタンをクリックすると以下の画面が表示され、計算結果の印刷イメージを確認することができます。

「施工箇所が点在する工事」の場合は、1枚目に各施工箇所ごとの工事原価の一覧と、全体にかかる一般管理費等以降の計算が一覧できる紙面が挿入されます。

諸経費内訳印刷

ページ全体

1/4

諸 経 費 一 覧

工事名	〇〇河川施設工事									
工事区分	河川工事									
一般管理費等率の前払金支出割合補正	35%を超え 40%以下 [補正しない]									
一般管理費等率の契約保証に係る補正	補正しない									

計算結果	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
直接工事費	15,000,000円	5,000,000円								
共通施設費	1,581,000円	626,000円								
共通施設費合計(複上分)	0円	0円								
運搬積上費	0円	0円								
準備積上費	0円	0円								
事業損失防止施設積上費	0円	0円								
安全積上費	0円	0円								
役務積上費	0円	0円								
技術管理積上費	0円	0円								
富積上費	0円	0円								
現場環境改善費(複上分)	0円	0円								
現場環境改善費(率分)	0円	0円								
共通施設費(率分)	1,581,000円	626,000円								
純工事費	16,581,000円	5,626,000円								
現場管理費	5,985,000円	2,443,000円								
工事原価	22,566,000円	8,069,000円								

一般管理費等	5,815,000 円	一般管理費等率19.74%×対象額29,468,000 円－調整額1,883円
工事価格	36,450,000 円	
消費税等相当額(10%)	3,645,000 円	
諸員工事費	40,095,000 円	

2枚目以降は、＜通常の積算＞、各施工箇所の通常の結果用紙が工事原価まで印字されます。

諸経費内訳印刷

ページ全体

2/4

諸経費内訳

工事名	〇〇河川施設工事	
工事区分	河川工事	
施工箇所	<通常の積算>	

《 計算条件 》

直接工事費	20,000,000 円	労働者費	0 円
共通施設費(複上分)	0 円	材料費	0 円
運搬費	0 円	一般材料費	0 円
準備費	0 円	別途材料の処分費	0 円
事業損失防止施設費	0 円	電力	0 円
安全費	0 円	事業損失防止施設等評価額	0 円
役務費	0 円	労務費(労働者費)	0 円
技術管理費	0 円	労務費(労務費)	0 円
富積費	0 円	富積に含まれる労務費等	0 円
現場環境改善費	0 円	現場に含まれる労務費等	0 円

共通施設費等の補正 補正しない

現場環境改善費 率正しない

現場管理費等の補正 補正しない

施工時間、工事期間等による補正 補正しない

《 計算結果 》

直接工事費	20,000,000 円	
共通施設費	1,598,000 円	
共通施設費合計(複上分)	0 円	
運搬積上費	0 円	
準備積上費	0 円	
事業損失防止施設積上費	0 円	
安全積上費	0 円	
役務積上費	0 円	
技術管理積上費	0 円	
富積積上費	0 円	
現場環境改善費(複上分)	0 円	1,000 円(労務費)除く
現場環境改善費(率分)	0 円	率正しない
共通施設費(率分)	1,598,000 円	共通施設費率 99.98% × 対象額 20,000,000 円
純工事費	21,598,000 円	
現場管理費	7,472,000 円	現場管理費率 33.97% × 対象額 21,598,000 円
工事原価	29,468,000 円	

諸経費内訳印刷

ページ全体

3/4

諸経費内訳

工事名	〇〇河川施設工事	
工事区分	河川工事	
施工箇所	施工箇所〇〇〇〇	

《 計算条件 》

直接工事費	15,000,000 円	労働者費	0 円
共通施設費(複上分)	0 円	材料費	0 円
運搬費	0 円	一般材料費	0 円
準備費	0 円	別途材料の処分費	0 円
事業損失防止施設費	0 円	電力	0 円
安全費	0 円	事業損失防止施設等評価額	0 円
役務費	0 円	労務費(労働者費)	0 円
技術管理費	0 円	労務費(労務費)	0 円
富積費	0 円	富積に含まれる労務費等	0 円
現場環境改善費	0 円	現場に含まれる労務費等	0 円

共通施設費等の補正 補正しない

現場環境改善費 率正しない

現場管理費等の補正 補正しない

施工時間、工事期間等による補正 補正しない

《 計算結果 》

直接工事費	15,000,000 円	
共通施設費	1,581,000 円	
共通施設費合計(複上分)	0 円	
運搬積上費	0 円	
準備積上費	0 円	
事業損失防止施設積上費	0 円	
安全積上費	0 円	
役務積上費	0 円	
技術管理積上費	0 円	
富積積上費	0 円	
現場環境改善費(複上分)	0 円	1,000 円(労務費)除く
現場環境改善費(率分)	0 円	率正しない
共通施設費(率分)	1,581,000 円	共通施設費率 10.94% × 対象額 15,000,000 円
純工事費	16,581,000 円	
現場管理費	5,585,000 円	現場管理費率 36.10% × 対象額 16,581,000 円
工事原価	22,566,000 円	

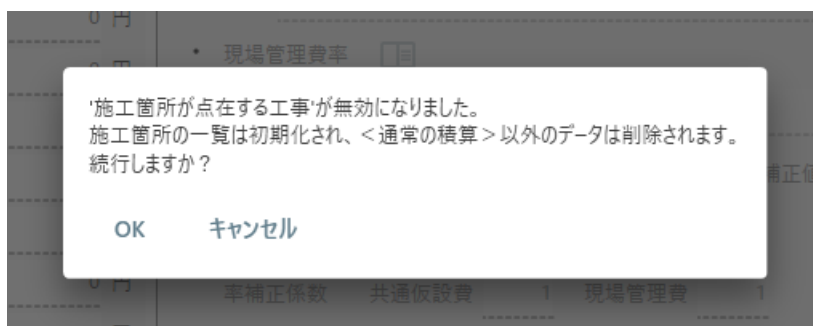
4-5. 「点在する工事」を OFF にする

「施工箇所が点在する工事」に変更した後、通常の施工箇所の工事計算に戻すには、チェックボックス「施工箇所が点在する工事」のチェックを外します。



画面が暗転し、「施工箇所が初期化されること」「＜通常の積算＞への入力値が残り、他の施工箇所のデータは削除されること」の注意メッセージが表示されます。

よく確認して、「OK」をクリックします。



通常の条件入力画面に戻ります。



5. 施工時期，工事期間，緊急工事による補正の計算

5-1. 「補正する」を選択する

「補正する」を選択していただき、鉛筆マークをクリックしてください。

現場管理費率 

補正 補正しない

施工時期、工事期間、緊急工事による補正 **補正する** 補正値 0 % **補正値を算出**

被災地地区向け復興係数による補正 補正しない 

「熱中症対策に資する現場管理費の補正（試行）」「積雪寒冷地域で施工時期が冬期となる場合」
「緊急工事の場合」の補正係数を算出できる画面が表示されます。

施工時期、工事期間、緊急工事による補正

熱中症対策に資する現場管理費の補正（試行） ☐ 補正する

補正係数 0 %
当会の算出サイズにて気温データを基に補正係数を算出できます。ご利用ください。

積雪寒冷地域で施工時期が冬期となる場合 ☐ 補正する 

適用地域 北海道、青森県、秋田県

工期 1 日 冬期工事日数 1 日

積算寒冷地域の区分 1級地 [補正係数(×1.80)]

補正係数 0 %

緊急工事の場合 ☐ 補正する

補正係数 0 %

OK キャンセル

5-2. 各補正係数の算出方法

共通仮設費＝対象額×共通仮設費率＋積上げ額「熱中症対策に資する現場管理費の補正（試行）」について：当会の「算出サイト」で補正係数の算出が可能です。サイトの使い方にそってご利用ください。

一般財団法人
建設物価調査会

熱中症対策に資する現場管理費の 補正額 算出サイト

対象工事の工期や地点などの条件を設定するだけで、真夏日数や現場管理費率に加算する補正值や補正額を簡単に算出できます。
利用規約に同意の上、ご利用ください。

通常版

使い方

事前計上(港湾)版

使い方

利用規約

【特長】

- ・過去の気温データを収録。条件を設定するだけで、簡単に手間なく算出が可能です。
- ・算出結果や気温データは、エクセルファイルをダウンロードして、自由に加工できます。

「積雪寒冷地域で施工時期が冬期となる場合」について：「資料」のアイコンをクリックしていただくと、施工時期、適用地域等が参照することができます。適用地域，工期，冬期工事日数，寒冷地域の区分を入力すると，補正係数を算出します。

「緊急工事の場合」：補正係数 2.0%が設定されます。

各補正係数を合算し（最大 2％）数値を設定します。

6. 諸経費編の用語について

① 共通仮設費

- 共通仮設費 = 対象額 × 共通仮設費率 + 積上げ額
- 対象額 = 直接工事費 + (支給品費 + 無償貸付機械等評価額 (官貸額)) + 事業損失防止施設費 + 準備費に含まれる処分費
- 共通仮設費率は、施工地域区分、工種区分、適用優先等を考慮した補正を行う (ただし、コンクリートダム及びフィルダム工事に率補正は適用されません)。
- 共通仮設費の構成は次のとおりです。



② 現場管理費

- 現場管理費 = 対象額 × 現場管理費率
- 対象額 = 純工事費 (直接工事費 + 共通仮設費) + 支給品費 + 無償貸付機械等評価額 (官貸額)
- 現場管理費率は、施工地域区分、工種区分、適用優先等、施工時期、工事期間、緊急工事 (※) を考慮した補正を行う (ただし、コンクリートダム及びフィルダムは緊急工事を考慮した補正のみ適用する)。

③ 現場環境改善費 (※)

- 現場環境改善費 = 対象額 × 現場環境改善費率 + 積上げ計上分
- 対象額 = 直接工事費 (処分費等を除く 共通仮設費対象分) + 支給品費 (共通仮設費対象分) + 無償貸付機械等評価額

④ 一般管理費等

- 一般管理費等 = 工事原価 (純工事費 + 現場管理費) × 一般管理費等率
- 一般管理費等率は、前払金支出割合及び契約保証に係る補正を行う。

(※) 土木のみ